

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	1131 生活排水処理施設維持費	会計	12	浄化槽事業特別会計
		款	03	維持費
		項	01	生活排水処理施設維持費
基本 施策	22 全市的に生活排水処理施設を整備する	目	01	生活排水処理施設維持費
		細目	597	生活排水処理施設維持費
行革大綱の重点事項番号	4	細々目	01	生活排水処理施設維持費
担当部課	コード 750100 名称 青山振興課	担当者 氏名	中山 良憲	連絡先 52 - 1114 (内線)

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	市で維持管理を行っている、浄化槽市町村整備推進事業により設置した浄化槽と寄付採納を受けた浄化槽。 ※対象件数
成果(どうする)	浄化槽の適正な維持管理をすることにより、良好な運転状態を保ち放流水質の安定を図る。
根拠法令・要綱等	浄化槽法、伊賀市戸別合併処理浄化槽の整備に関する条例、同施工規則、
開始年度	平成 16 年度
終了年度	平成 年度
関連事業	
H21 事業 内容	・浄化槽の装置等の保守点検及び修繕 ・処理により発生した汚泥の清掃及び処分
社会情勢 の変化等	・設置後年数が経過し、浄化槽装置等の修理費が増えてきている。

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 建設用地		1 運営主体	民間委託等
2 建設面積 (延床面積)		委託先	若山左官、上野ガス、青山浄化槽施工管理事業協会、名張環境事業協会組合、福岡設備
3 規模・構造		2 配置人員	5 人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	10,623 千円
		4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
施設保守点検(3回/年)	目標	回	522	627	642	672
	実績		522	582		
水質検査(4回/年)	目標	回	696	836	856	896
	実績		696	776		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
良好に運転されている浄化槽の率			%	目標 100	実績 100	100	100
				目標 100	実績 100		
使用料徴収率(収入額/調停額)			%	目標 100	実績 100	100	100
				目標 100	実績 100		

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	14,379	12,212			16,419		16,419	
Aの 財源 内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	14,379	12,212			16,419	16,419	
一般財源	0	0			0		0	
事業投入人件費(B)	1.0 人 7,200	1.0 人 7,200	1.0 人 7,200	1.0 人 7,200	1.0 人 7,200	1.0 人 7,200	1.0 人 7,200	
フルコスト(A)+(B)	21,579	19,412			23,619		23,619	

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	○
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高 サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
達成度	当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。 予算の繰越の有無 無 【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	【計画に遅れが生じている場合、改善策】 目標数値は、設置計画数であり、実績は設置数に対し100%実施している。目標数値の見直しが必要である。
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	・現状の維持管理体制を引続き行い、施設の良好な運転に努める。
昨年度の 取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 ・浄化槽の保守点検及び修繕の実施。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	藤原 四郎
事業の方向性	【方向性】 現状維持 【理由】 支所業務は、引続き実施するが、職員が減少する場合は、本庁業務を検討してほしい。
現時点における 課題、その他	特になし。
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、何を、どうする)	